

年 組 名前



水素自転車ス〜イスイ 鹿追で公道試乗

【鹿追】十勝管内鹿追町で製造された水素を使って発電する電動アシスト自転車（水素自転車）の公道試乗会が11日、鹿追―上十幌、十幌間の90キロにわたる公道で開かれた。開発を進めるトヨタ自動車グループのトヨタ紡織（愛知県）によると、長距離の試乗会は国内で初めて。

水素自転車は同社がトヨタの燃料電池車「MIRAI」（ミライ）向けに製造している部品の技術を活用。水素と酸素を化学反応させて電気をつくり、発電時に「酸化炭素を排出しない。試乗会には鹿追町の喜井知己町長や鹿追高生ら7人が参加し、1台の自転車を交代で走行した。鹿追高1年のAさん（16）は「ペダルが軽くて走るのが楽だった。広大な畑や山が見えて、風も気持ちよかった」と話した。

鹿追では家畜ふん尿から生成されるバイオガスを利用して水素を製造しており、この日の水素自転車には200リットルの水素を充填したタンクを搭載した。

（久保吉史）

水素自転車の公道試乗会で道の駅しおかおいを出発する鹿追町の喜井知己町長（小川泰弘撮影）

2025年10月12日（日）朝刊 全道版 27ページ（記事は再編集しています）

（1）水素自転車は、トヨタの燃料電池車「MIRAI」向けに製造している部品のどのような技術を活用していますか。（ ）に当てはまる言葉を入れましょう。

（ ）と（ ）を化学反応させて、電気をつくることで、
発電時に（ ）を排出しない技術

（2）鹿追町では何を利用して水素を製造していますか。記事を読んで答えましょう。

（3）今後開発が進み、水素自転車を使う人が増えていくと、地球や環境にとってどのようなよいことがあると思いますか。記事を読んで、自分で考えたことを書きましょう。